

誰がこれを造ったのか

- 社会への責任、そして次世代へのメッセージ -



第96代会長 栢原 英郎

構成

- はじめに
- 1 . 無名碑
- 2 . 無名碑では何が困るのか
- 3 . 海外ではどうなのか
- 4 . 事例に見る
- 5 . 我々がしようとしていること
- 6 . 考えられる具体的な方法の素案

ル・
コルビュジェ

丹下健三

フランク・
ロイド・
ライト

東京都庁舎

国立西洋美術館

帝国ホテル旧館_明治村

3

明石海峡大橋

黒部ダム

東京港 青海コンテナ埠頭

4

1 . 無名碑



- 作者：曾野綾子（講談社、1969年）
- 曾野は、アジアハイウェイとダム建設現場で土木技術者の仕事に感銘し、この小説を書いた。
- 一人の土木技師（三雲竜起）が田子倉ダムをはじめ、名神高速道路、タイのアジア・ハイウェイの建設に挑んだ物語。
- テーマ：「土木技師三雲竜起の造る巨大な構造物が記念碑であって、そこにその名が刻まれることはない」

5

無名碑より

二人は手を取り合って歩いていたが、老人が行ってしまうと容子は竜起に子供のように尋ねた。

「あなたが、あそこにダムをつくるのね」

「僕も作る」

「名前は書かないのね。あなたの仕事は」

「そうだよ。小説家とは違う」

「書かないのがすてきだわ。名前は残らないほうがいいの」

「僕の仕事は一生どんなにいい仕事をして個人の名前は残らない」

「でも、私たちの子供が覚えていてくれるでしょうね。私、子供に教えるつもりよ。このダムはね、お父さんが作ったのよ、って」

「それで充分じゃないか」

6

接頭辞 “Infra-”

- インフラストラクチャーは、そもそも市民には見えにくい
- 接頭辞 “infra-”は五感では感じにくく、しかも下にあるものに使われる
- 赤外線 (Infra-red) と紫外線 (Ultra-violet)
- 可聴下音 (Infra-sonic) と 超可聴音 (Super-sonic)

7

2 . 無名碑では何が困るのか

- 人々は、社会のシステムが巨大、複雑になるほど、そこに「人の関わり」を感じたい (社会との関係)
 - 親しみ、安心とともに、責任の明示
 - 生産者の名前・写真を付けた農作物
- 若い人が社会基盤整備に携わることに夢を持ち難い (次世代を担う人々との関係)
 - 分野よりもヒーローにあこがれる ?
 - IT か ビル・ゲイツ か、化学 か 田中耕一 か、・・・

8

3 . 海外ではどうなのか

- イザムバード・キングダム・ブルネル
- 八田與一
- 橋名板の事例（シカゴ ワバシュ通り橋）

9

イザムバード・キングダム・ブルネル

- 英国の土木・機械技術者 -

- Isambard Kingdom Brunel
- 1806 - 59
- シールドトンネルの発明者
- 2002年にBBC放送が行った「偉大な英国人」アンケートにおいてチャーチルに次ぎ2位。

ちなみに3位以下はダイアナ、ダーウィン、シェークスピアと続く。ニュートンやジョン・レノンも10位以内であるが、ブルネルの人気の高さは断トツである。



10

八田與一

- 台湾で有名な日本人土木技術者 -

- 1886 - 1942
- 大正期から昭和初期にかけて、日本統治時代の台湾で農業水利事業に大きな貢献をした水利技術者。
- 国家公務員の立場を捨て、嘉南大圳組合の技師となり、大正9年から昭和5年の完成に至るまで工事を指揮し、有効貯水量1億5,000万³mの大貯水池と烏山頭ダムを完成した。



ワバシュ通り橋（シカゴ）の橋名板

- 橋名、完成年
- 市長のほか、橋梁の計画、設計、建設に関わった技術者の名前が表示されている



技術者の名が示される 情報揭示の要素

- 目的：理解拡大、管理、記念、謝恩、顕彰
- 媒体：広報板、出版、映像、WEB、銘板、記念碑、記念館、銅像
- 場所：オンサイト、ニアサイト、オフサイト
- 単位：プロジェクト、構造物
- 対象：人、組織、技術
- 事業のステージ：構想・計画、設計、建設、改良、維持管理

13

目的

- 理解拡大：プロジェクトや構造物に対する納税者の理解を得ること。
- 管理：プロジェクトの事業主体あるいは構造物の設置者による管理。
- 記念：完成、供用開始を広く納税者に伝えること。
- 謝恩：プロジェクト、構造物がもたらす効用への感謝や、負担・協力への感謝。
- 顕彰：プロジェクト、構造物の先駆者、功績者の顕彰。

14

管理のための情報揭示の事例

- 名称：勝岩トンネル
- 場所：千葉県（国道127号）
- 時期：平成15年（竣工時）
- 記載項目：構造物名称、
工事名称、工期、発注機関名、適用基準、
設計基準強度、水セメント比、設計会社名、
設計責任者名、施工会社名、監理技術者名、
コンクリート工場名



15

顕彰のための事例

- 名称：工学博士廣井勇君之像
- 功績：小樽港第一期修築工事
- 場所：小樽公園 運河公園
- 主体：第2代所長 伊藤長右衛門
- 時期：昭和4年
(竣工明治41年)



5 . 我々がしようとしていること

- 土木技術者を「顕彰」することが提言の目的ではない。
- 人々の構造物への感激と重ね合わせて、技術者の存在に気づいてもらうこと。
- 責任の所在をはっきりさせる。
- 次世代を担う若者に、「自分も・・・のような土木技術者を目指したい」と思えるような環境を作る。

17

可視化の一つのイメージ



胸に成竹ありて
積土陸を成す
市民百年の夢
ここに実現す

2006年5月26日

土木技術者 山下博通

新北九州空港 1階到着ロビー

6. 考えられる具体的な方法の素案 - 例えば、構造物の傍に銘板を -

記載項目

- 構造物の名称
- 完成(供用開始)時期(工期)
- 事業主体名及び関係技術者
- 設計会社名及び設計責任者
- 施工会社名及び施工責任者
- 目的、・・・



シカゴ ワバッシュ通り橋の橋名板

まとめ 土木技術者の可視化とは

- 社会基盤の実現のためには、
- 土木技術者の存在があったことを、
- 社会に見えるようにすること
 - 社会への責任として
 - 土木技術者の気概として

